

医療従事者の新型コロナウイルス感染症の発生について（第2報）

8月4日(火)に当院医療従事者1名の新型コロナウイルス感染が確認されました。当院では、医療安全の観点から濃厚接触者はもとより、職場の同僚をはじめ対象範囲を広げてPCR検査を実施しました。濃厚接触者の検査結果は全て「陰性」でした。

しかし、同じフロアにいる職員全員について自主的に検査したところ同僚1名の検査結果が「陽性」であることが判明しました。

先に感染が確認された者と当該職員は、同じリハビリテーション科に勤務する医療従事者です。

現在、倉敷市保健所の指導のもと、8月5日(水)以降、当該部署の業務は休止していますが、その職務・行動範囲は限定的であること、接触した患者さんを特定できていることから、当該部署以外の病院業務は従来通り行っています。

今般、同一部署から2例目の感染者が判明したことを受けて、今後の感染拡大防止、患者さんの安全確保の観点からリハビリテーション業務は当面の間、休止することに決定いたしました。

なお、リハビリテーションに関連しない診療は引き続き、最大限の感染対策を講じた上で実施して参ります。

皆さまに大変なご不安ならびにご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。事情ご賢察のうえ何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2020年8月7日
倉敷成人病センター
病院長 梅川 康弘